

運輸安全マネジメントの取り組みについて

川崎陸送株式会社は、経営トップをはじめ全社員が輸送の安全の重要性を深く認識し、安全を最優先とした取り組みを行ってきました。

運輸安全マネジメントの導入を機会に、第71期(08年4月~09年3月)の「輸送の安全に対する基本的な方針」に基づき、より一層安全な輸送を実現するべく全社員が一丸となって取り組んで参ります。

1. 輸送の安全に対する基本的な方針

- (1) 全社員に対して、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させ、その実現のため経営トップが主導的な役割を果たし、全社員が一丸となって安全性の向上を図る。
- (2) 輸送の安全に関する取り組み状況等の情報について、積極的に公表する。
- (3) 安全に対する基本的な方針及びそれに基づく目標・計画を全社員に周知・徹底する。
- (4) 公共の道路を使用して仕事をしているという認識を常に持ち、運転に関する知識・技能の研鑽に努め、人身事故の防止を図る。
- (5) プロドライバーとしての自覚を高め、悪質違反(酒酔い運転、酒気帯び運転、過労運転、薬物等使用運転、無免許・無資格運転、過積載運行、最高速度違反、救護義務違反)を絶対させない。
- (6) 重大事故につながりかねない軽微な事故の削減をしていきます。

2. 輸送の安全に関する目標

(1) 交通事故の減少目標

人身事故・・・ゼロ件
物損事故・・・9件(前年比55%減)
自損事故・・・ゼロ件(前年比100%減)

(2) 目標達成の方法

バック事故撲滅の訓練実施
かすり事故撲滅の訓練実施
KYT、指差呼称完全実施
PC記録型アルコールチェッカーの運用面での改善(長距離運行に対するの対策)

昨年(09年度)の目標達成状況

(1) 交通事故の結果

人身事故・・・ゼロ件、目標達成
物損事故・・・21件、目標未達
自損事故・・・3件、目標未達

(2) 輸送の安全への投資

乗務職・管理職教育はほぼ目標通り実施できた。
PC記録型アルコールチェッカーは計画通り購入、対象全事業所に設置

3. 事故に関する統計(自動車事故報告規則第2条に規定する事故)

平成18年度(2007年4月~2008年3月)・・・ゼロ件



平成20年4月1日

川崎陸送株式会社

取締役社長 樋口恵一

